

広報

よしか

2026年（令和8年）

2月号

No.244

株式会社 森の環

製材工場開所式が行われました！

令和7年12月17日（水）、吉賀町柿木地内において、株式会社森の環製材工場の開所式が行われました。式典には、多くの関係者が出席し、新たな拠点の門出を祝いました。

本製材工場は、地域おこし協力隊『森師研修員』の受託企業である株式会社森の環の事業所として、老朽化した施設の改修をはじめ、製材加工設備や薪製造設備、レーザー加工機などを導入し、六次産業化に向けた整備が行われました。

今後は、丸太販売などの素材生産とあわせて製品販売や木育事業を推進し、木材の付加価値を高める事業展開を目指していきます。



令和7年度吉賀町米食味選手権表彰式及び 第27回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in つくばみらい受賞報告会

吉賀町産米の市場価値向上と生産者の生産意欲向上を目的に、優れた生産者を表彰する「吉賀町米食味選手権」を実施し、令和7年12月19日、役場六日市庁舎にて表彰式を執り行いました。本選手権においては、一定の基準を満たす検体を出品した生産者および生産者組織を優秀賞として選定し、その中から食味値上位5名を金賞として表彰しました。

令和7年度吉賀町米食味選手権受賞者（敬称略）

賞	生産者名
金賞	潮 竜太郎・北川 智利・長谷川 慎・村上 一郎・渡邊 周治
優秀賞	川瀬 史恵・桑原 達典・助はんどうの会・中田 昭・永安 誠

第27回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in つくばみらい受賞者

賞	生産者名
米・食味分析鑑定コンクール国際大会 特別表彰「オーガニックビレッジ宣言 環境農業大賞」	村上 一郎
米・食味分析鑑定コンクール国際大会 都道府県・海外地域代表 お米選手権部門「金賞」	渡邊 周治

※掲載順は五十音順です

また、吉賀町選抜における選抜要件を満たした計11検体を、令和7年12月6日から7日にかけて茨城県で開催された「第27回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in つくばみらい」へ出品しました。

本大会は、国内外から高品質な米が集まる国内最大級の食味評価コンクールであり、今年は全国及び海外から5,070検体もの出品がありました。その結果、吉賀町から出品した米のうち、村上一郎氏が、昨年新設された特別表彰「オーガニックビレッジ宣言 環境農業大賞」を受賞されました。この賞は、環境に配慮した持続可能な農業の実践と、その地域ぐるみの取り組みが高く評価された生産者に贈られるものであり、吉賀町としては設立初年度に続き今回で2度目の受賞となります。さらに、渡邊周治氏が出品された品種「きぬむすめ」は、一次審査で都道府県・海外地域代表お米選手権部門における41検体のうちの1つに選出され、30名の審査員による食味審査が行われました。審査では米の艶・香り・のどごしなど複数の基準に基づいて点数が付けられ、その結果、上位16名にのみ贈られる「金賞」を受賞されました。これらの成果により、本大会における吉賀町の受賞は第18回大会以降、10大会連続となり、吉賀町産米の高い評価と、環境に配慮した農業への持続的な取り組みが全国的に高く評価されていることを改めて示す結果となりました。



<つくばみらい市で行われた表彰式にて>



<役場で行われた表彰式にて>

高島屋日本橋店で吉賀町フェアを開催しました

令和7年11月28日（金）から30日（日）までの3日間、東京日本橋の「高島屋本店 高島屋ファーム」スペースにおいて、吉賀町フェアを開催しました。

会場では、栽培期間中に農薬や化学肥料を使用していない野菜や新米のほか、味噌、揚げかきもち、焼き菓子など、吉賀町の魅力が詰まった多彩な農産加工品を取りそろえ、多くのお客様に紹介しました。

新鮮な農産物を届けるため、輸送にはANA航空貨物事業を活用し、萩・石見空港から羽田空港を経由して高島屋本店まで迅速に輸送しました。



今回が初めての開催となりましたが、期間中は連日多くのお客様が足を止め、商品を手にとっていただきました。生産背景や吉賀町の自然環境を説明する中で、町の取り組みや魅力への関心も高まり、農産物等を通じて吉賀町を広くPRする有意義な販売会となりました。今後も、このような機会を通じて、吉賀町の魅力発信と農産物の販路拡大に取り組んでいきます。

第4回「有機の学校 in 吉賀町」を開催しました

令和7年12月2日（火）、今年度最後となる第4回「有機の学校 in 吉賀町」を開催し、講師として千葉康伸さん・森昭暢さん（一般社団法人次代の農と食をつくる会）をお迎えしました。

福川の圃場では、これまでの作業を振り返りながら、ニンジンや白ネギの生育具合を確認しました。参加者は、ニンジンの植え方や、植え方に応じた適切な間引き方法について学びました。

続いて、木部谷の圃場では、参加者で植えた白ネギの生育確認と作業の振り返りを行いました。白ネギ栽培では土寄せの時期が重要であり、気温や土の加湿状況によって適切な時期を見極める必要があるなどの説明がありました。参加者からは「来年は白ネギに挑戦してみたい」といった声も上がり、来年度に向けた栽培の質問が活発に交わされました。

その後、木部谷・大野原自治会館にて全体の振り返りと、今年多かった虫害対策をテーマに講義を実施しました。虫害を減らすために天敵を増やす方法や、そのための環境づくりなどについて学びました。

今年は、「今の環境にあったオーガニックを学ぼう」をテーマに、年間を通して栽培方法や環境に応じた実践を学んできました。天候の変化や土壌の違いに合わせた栽培技術を現場で体験できたことで、参加者からは「実践の圃場で学ぶことで理解が深まった」「自分の畑でも試してみたい」といった声が多く寄せられました。また、参加者同士の交流が進み、それぞれの経験や悩みを共有しながら学べたことも大きな成果となりました。年間を通した学びにより、有機農業への関心と取り組みの広がりを感じられる一年となりました。



第75回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト入賞作品について

今年度も島根県推進委員会の主催で“社会を明るくする運動”作文コンテストが実施されました。

このコンテストは、次代を担う小・中学生のみなさんに日常の家庭生活や学校生活での体験をもとに、犯罪や非行のない地域社会づくりなどについて考えたことを作文にし、“社会を明るくする運動”に対する理解を深めてもらうことを目的として毎年行われています。

この度の作文コンテストでは、吉賀町内の応募作品の中から町長賞に茅原愛桜さん、教育長賞に矢野菜乃心さんが選ばれ、受賞した2名の方には吉賀町保護司より賞状と副賞が贈呈されました。



【町長賞】

六日市中学校2年
茅原 愛桜さん
作文題名：優しいつながり方



【教育長賞】

吉賀中学校3年
矢野 菜乃心さん
作文題名：今、思いやり

「よしか音訊の会」が島根県県民いきいき活動奨励賞を受賞

令和7年12月10日（水）に島根県庁で開催された「島根県県民いきいき活動奨励賞」の表彰において、よしか音訊の会が【NPO・ボランティア部門】の受賞団体選ばれました。

よしか音訊の会は、目の不自由な方や音訊による情報提供を必要とする方々に、音声を通じて地域の情報や文化を届ける活動を続けています。毎月、町広報や学校だより、社協・議会・公民館のお知らせ、書籍や冊子などを録音し、CDを制作・郵送することで、地域の情報格差の解消に大きく貢献しています。

また、月に一度は地域のデイサービス施設を訪問し、紙芝居の上演や歌、ゲームなどを通して、高齢者の方々に楽しみと笑顔を届ける活動も行っており、福祉・文化の両面から地域に温かいつながりを生み出しています。



<丸山知事より賞状が授与されました>



<岩本町長へ受賞の報告をいただきました>

元 六日市町長 故 村上定弘さんに叙位の栄

去る5月10日にご逝去された村上定弘さん（享年87歳）に、叙位従六位が授与されることになり、令和7年12月12日にご遺族へ岩本町長から位記が伝達されました。



村上定弘さんは、昭和49年に六日市町議会議員に36歳の若さで初当選し、以後、昭和56年までの2期7年間、地方議会の進展に尽力されました。その間2年間にわたり、副議長を務められました。また、昭和57年に六日市町長に当選し、平成2年までの2期8年間、今日の町制の礎を築くことに大きく貢献されました。平成25年には、旭日双光章を受章されており、このたび、地方自治及び地域振興に尽力された功績が叙位の榮譽として認められました。

元六日市町立六日市小学校長 北野嘉輝さんに高齢者叙勲の栄

令和7年10月1日に北野嘉輝さん（六日市）に 瑞宝双光章 が授与されることになり、令和8年1月6日に岩本町長から勲記と勲章が伝達されました。

北野嘉輝さんは、昭和36年4月1日付けで海士郡海士村立海士中学校（現隠岐郡海士町立海士中学校）において学校教育者としての第一歩を踏み出して以来、平成10年3月31日に六日市町立六日市小学校長を退職するまでの37年間を小中学校教育の発展のために尽力されました。

このたび、長年にわたる教育者としての功績が、叙勲の榮譽として認められました。



吉賀町手話奉仕員養成講座修了式が執り行われました

吉賀町福祉事務所長より受講生一人ひとりに修了証書が手渡されました。10名は2年間の課程を修了し、未来への大きな一歩を踏み出しました。今後の活躍に期待します！



令和8年度

吉賀町手話奉仕員養成講座受講生を募集します。

- 手話に興味・関心がある
- 手話で話してみたい
- 誰かの役に立ちたい・・・

詳細は決まり次第、広報等でお知らせします。

問合せ先：吉賀町役場保健福祉課 ☎77-1165

人権週間のとりくみ

日本では、12月10日の「世界人権デー」の前1週間（12月4日～12月10日）を「人権週間」として、全国各地で啓発活動が実施されます。吉賀町では12月3日に、人権擁護委員さんが町内の小中学校、団体、企業等を訪問しました。啓発物品を配布し、人権についてそれぞれの立場で取り組んでいただくようお願いをしました。また、広報車で町内を巡回して、人権週間のPRを行いました。

12月5日～12月11日の期間では第12回「いのち・愛・人権」展に参加し、パネル展示を行いました。この「いのち・愛・人権」展は22の団体が構成される益田・鹿足実行委員会が主催となり、益田市人権センターではパネル展示、益田市総合福祉センターでは映画上映が行われました。第12回は～広げよう、人権文化のまちづくり～をテーマとして「一人ひとりが大切にされ、人と人がつながり、生きる喜びを実感できる『人権のまちづくり』を進めていくために、さまざまな人たちや団体とのネットワークを広げ、『人権文化』豊かな社会へ発展させよう」という趣旨のもと開催されました。

障がい者、高齢者、子ども、女性、部落差別、平和と戦争問題、多文化共生などさまざまな人権課題を見て、聞いて、体験することのできた内容となりました。

12月9日～12月19日の間には町内の保育所を訪問し、『人権の花』運動を実施しました。各園の年長さんに人権がテーマとなる紙芝居の読み聞かせをおこない、やさしい気持ちをもって花を育ててもらうことを願って、一人ひとりにヒヤシンスの鉢植えを手渡しました。少し照れくさそうにしながらも嬉しそうに花を受け取っていました。「思いやりの気持ちをもってきれいな花を咲かせてください。」と伝えると、「はい！」と大きな返事を返してくれたことがとても頼もしく感じました。



<六日市保育所>



人権イメージキャラクター
人KENまもる君



<双葉保育所>



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん



<七光保育所>



<かきのき保育所>

酒井董美氏収録 「島根の民話」がケンブリッジ大学図書館に収録されます！

酒井さんは松江市出身の元島根大学法文学部教授の方で、昭和37年4月から同42年3月まで柿木中学校で教壇に立たれました。昭和35年から口承文芸の収録を始め、柿木中学校に赴任されてから収録された昔話やわらべ歌などは昭和52年、「柿木村の民俗」として当時の柿木村教育委員会から発行されています。

この度の収録は、吉賀町での話（むすびを食べた地蔵様）を含む県内の民話全5話で、英語をはじめドイツ語やフランス語など6か国語の翻訳で収録されます。この吉報は、東京吉賀会に在籍されている大田俊夫副会長（旧柿木村茂土路出身）から提供していただきました。大田さんが柿木中学校に在籍していた時代には、毎週のように酒井さんが自宅を訪問され、お爺様から旧柿木村に伝承されていた民話やわらべ歌を口承で収録されていたとのことでした。



2023年8月30日撮影



1966年（昭和41年）
NETテレビ（現在のテレビ朝日の前身）
「木島則夫モーニングショー」に柿木小児童と出演
右側後方が酒井さん

島根県統計功労者等表彰式

12月18日（木）松江市の島根県庁講堂において、島根県統計功労者等表彰式が開催され、吉賀町から4名の受賞者が出席しました。丸山島根県知事から表彰状が手渡され、長年にわたる統計調査へのご尽力とご協力に対する敬意と、お祝いの言葉がかけられました。

この表彰式は、統計事務に関し特に顕著な功績のあった個人又は団体を表彰し、統計従事者の志気の高揚を図ることを目的に、島根県と島根県統計協会が主催して行われるものです。近年、個人情報保護や防犯意識の高まり等により、統計調査の実施に際して調査員の皆様にはご苦勞をおかけするとともに、調査員になっていただける方の確保も難しさを増しています。

今回受賞された皆様への心よりの感謝を申し上げます。



【受賞者】 ※敬称略、五十音順

★島根県統計協会会長表彰

（調査員として10年以上従事）

上山ナツエ 澄川直久 堀 京子

★島根県知事感謝状

（調査員として5年以上従事）

大溝美加枝 佐藤千栄子 田村俊則
坪井清美 福原信子 松田千恵
松田照美 右田 巧 山根里馬

 8020よい歯のコンクール 表彰 

『8020よい歯のコンクール』は毎年、島根県と島根県歯科医師会が開催しているコンクールです。このコンクールでは、80歳以上で自分の歯を20本以上保有している方を表彰しています。自分の歯が20本以上あると、食生活にほぼ満足できると言われています。今年は県内で135名の方が推薦され、町内では14名の方が優良賞を受賞されました。

受賞者の皆さんにインタビューし、お口について、心がけていることを伺うことができましたので、ぜひ、みなさんも受賞者の方の心がけていることを参考にお口の健康を保ちましょう！

●8020よい歯のコンクール受賞者の皆様（順不同、了承を得た方のみ掲載しています）

お名前	心がけていること
佐野 彰則さま	毎日1日3回しっかり歯をみがいています。
藤元 妙子さま	何か食べたらずぐに歯をみがくようにしています。
田中 幸枝さま	3か月に1回歯科受診をしています。 フロスや舌ブラシも活用して丁寧に歯みがきをしています。
渡辺 司さま	フロスを活用しながら、毎日しっかり歯みがきをしています。
寺戸 美瑛子さま	何か食べたらずぐに歯をみがくようにしています。
河野 重人さま	3か月に1回歯科受診をしています。 毎日1日3回しっかり歯をみがいています。
大埜 正吉さま	定期的に歯科受診をしています。 毎日1日3回しっかり歯をみがいています。
山元 好子さま	月に1回歯科受診をしています。
村上 康博さま	歯間ブラシを活用し、毎日1日3回しっかり歯をみがいています。
中村 洋子さま	歯間ブラシやワンタフトブラシを活用して丁寧に時間をかけて歯をみがいています。
中村 明美さま	年に2回歯科受診をしています。 舌ブラシ等も活用してしっかり歯をみがいています。
富安 淳子さま	3か月に1回歯科受診をしています。

受賞者の方は、丁寧な「セルフケア」と定期的な「歯科受診」を心がけておられることが分かりました。実際、お口の健康を維持するためには、「適切なセルフケア」と「定期的なプロケア」がとても重要です。フロス等を活用しながら歯みがきをすれば、80%程度の歯垢を除去することが可能ですが、それでもすべての歯垢をきれいにするにはできないため、歯科医院で定期的にお口の汚れをきれいにしてもらったり、むし歯等がないかみてもらったりしましょう！



自分で守るケモノ被害ゼロ通信！ ～2，3月号～

人里に野生動物を呼び込まないために
冬の餌資源をしっかりと管理しましょう！

野生動物の多くは、冬季でも**自然の中**で必要な餌を見つけて生きぬいています。私たちが人里で彼らの餌となってしまう**収穫しない野菜や木についたままの果樹**を放置したり、適切な処理をせず**畑に撒いたり**すると、野生動物が**過剰に人里に依存**してしまうことがあります。人には**利用価値**がないようなものでも、餌資源にしないよう**所有者の責任の下、適切に管理し**野生動物が**自然の摂理に基づいて生活**できるようにサポートしましょう。



餌資源となる放棄野菜

春の訪れとともに、**屋根裏の住民**もお引越し！
穴を塞いで、安心な春を迎えよう

春は野生動物などが**屋根裏や壁**に入り込み、**出産や子育て**を始める季節です。動物たちが入り込まないように**隙間を未然に塞ぐため**、家の**隙間や穴**を事前に確認し、大工さんなどの**専門家に点検**してもらいましょう。**小さな隙間でも動物の侵入経路**となることがあります。穴を塞ぐことで、家を守り、**安心して春を迎える**ことができます。**早めの対策**で、トラブルを防ぎましょう！



天井で生まれた
アライグマの子供

吉賀町産業課：0856-79-2213

可燃ごみ収集日	◆週2回（柿木地域）地区⇒月・金	◆週2回（蔵木・六日市）地区⇒月・木
	◆週2回（朝倉・七日市）地区⇒火・金	◆月1回地区⇒第4週の月
ごみの種類	◆週1回（蓼野・朝倉【奥仲、野田、樋ノ口】）⇒火	◆週1回（星坂）⇒木
	資：資源ごみ 力：カン類 容：容器プラスチック 商：商品プラスチック	有：有害ごみ ビ：ビン 陶：陶器類 粗：粗大ごみ

水	木	金	土
4 ゆらら休館日 はとのゆ休館日	5 松ヶ丘病院通院バス運行日	6 骨折・転倒予防教室	7 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">柿木地域⇒ビ・容</div>
11 建国記念の日 はとのゆ休館日	12 手話通訳者設置日	13 行政相談所等開設日	14
18 はとのゆ休館日	19 松ヶ丘病院通院バス運行日 障がい者就労相談日	20 特設人権相談所 からだ爽快教室	21 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">柿木地域 ⇒力・有・粗・商・容</div>
25 はとのゆ休館日 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">朝倉・七日市⇒力・容</div>	26 手話通訳者設置日	27	28

町県民税の申告及び確定申告がはじまります

2月16日（月）～3月16日（月）
8時30分～11時30分、13時～16時
<土日祝日を除く>

2月 町民カレンダー

	日	月	火
納期限のお知らせ 〈納付書払いの方〉 3月2日(月) 〈口座振替の方〉 3月2日(月)	1	2	3 ゆらら休館日 ストレッチ教室
	〈2月納付対象科目〉 固定資産税(4期) 下水道使用料 (11・12月分) 集落排水処理施設使用料 (11・12月分)	8 蔵木・六日市⇒資 柿木地域⇒ビ・容	9 松ヶ丘病院通院バス運行日 蔵木・六日市⇒粗・容
吉賀町役場 電話 77-1111 FAX 77-1891 吉賀町役場柿木庁舎 電話 79-2211 FAX 79-2344 吉賀町教育委員会 電話 77-1285 FAX 77-0040	15	16	17 ストレッチ教室 ひきこもり相談日 朝倉・七日市⇒ビ・有・商
	22 柿木地域⇒カ・有・粗・商・容	23 天皇誕生日	24 松ヶ丘病院通院バス運行日 妊婦・乳幼児健康相談 乳児健診 こころの相談 蔵木・六日市⇒カ・容 河津・金山谷⇒粗・容・ビ・有・カ・商
火事救急は119番 事件事故は110番	第21回よしか・夢・花マラソン 4月26日(日)開催! <申込締切 2月28日(土)>		

『ロコモティブシンドローム』をご存じですか？

●ロコモティブシンドロームとは？

骨や関節、筋肉、神経などの運動器の組織の障害によって、立ったり歩いたりするための身体能力が低下した状態を「ロコモティブシンドローム」、略して「ロコモ」と呼びます。ロコモが進行すると、将来介護が必要になるリスクが高まるため、早めに予防することが必要です。

●ロコモティブシンドロームは自覚症状がなくても要注意！

日常生活に支障はないと思っけていても、ロコモになっていたたり、すでに進行したりしている場合があります。「ロコチェック」を用いて簡単にチェックしてみましょう！

このロコチェックで1つでも当てはまればロコモの心配があります。

	質問	チェック
1	片足立ちで靴下がはけない	
2	家の中でつまずいたりすべったりする	
3	階段を上がるのに手すりが必要	
4	家のやや重い仕事が困難（掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど）	
5	2kg程度の買い物で持ち上げるのが困難（1Lの牛乳パック2個程度）	
6	15分くらい続けて歩くことができない	
7	横断歩道を青信号で渡り切れない	

●今すぐできるロコモ対策！

《トレーニング》

自宅で簡単にできる運動なので、無理のない範囲で、ぜひお家でも実施してみてください。

①片足立ち：左右それぞれ1分間で1セット×1日3セット

- ・転倒しないようにつかまるものがある場所で行う
- ・床に片足がつかないように片足を上げ、姿勢をまっすぐに保つ

②スクワット：5～6回で1セット×1日3セット

- ・足を肩幅に広げて立つ
 - ・お尻を後ろに引くように、2～3秒間かけてゆっくりと膝を曲げ、ゆっくりと戻る
- ★スクワットができない場合は、椅子に腰かけ、立すわりの動作を繰り返すのでも良い
- ★動作中は息を止めないようにする



《食事》

身体の筋肉や骨などを作るには、バランスの良い食事が大切です。

★筋肉にはタンパク質が大切ですが、加えてエネルギーとなる炭水化物や脂質も必要です。

★骨にはカルシウムだけでなく、タンパク質、ビタミンD、ビタミンKなどが必要です。

今年度も、食生活改善推進員と吉賀町に伝わる郷土料理の調理実習を町内小学校、中学校で開催しました。吉賀町に伝わる郷土料理にまつわるいわれについてもお話しをして、調理実習を行いました。

最近では角寿司を各家庭で作ることは少なくなり、食べたことはあっても実際に作ったことはない子どもたちがほとんどです。寿司の型に押しつけて作るところを初めて経験する子どもたちも多くいました。また、多くの伝承料理が時間をかけ、丁寧に作られていること、家の人の毎日の食事作りの苦勞を知ったなど、作るだけではなく、経験したことからいろいろなことを想像している様子に驚きました。

小中学生とも地域の食生活改善推進員さんと楽しくコミュニケーションをとりながら調理実習をしていました。普段できない体験に悪戦苦闘しながらも、食生活改善推進員さんに教えていただき、一生懸命取り組んでいました。

自分たちの作ったお米で角寿司を作った小学生の感想

- 僕たちが作った棚田のお米で作った角寿司もおにぎりもすごく美味しかったです。米作りは大変だったけど、美味しいのが出来たから良かったです。
- 今日の収穫祭をして楽しかったし美味しかったです。一番楽しかったのは、角寿司づくりです。なぜかという、最初はやり方を知らなかったけどやってみたら結構楽しかったからです。

中学生の感想

- 今日の郷土料理実習で食改さんと楽しく作れて良かったです。日本には今日作った郷土料理以外の料理がたくさんあるから、家に帰ってから調べたり、お母さんと一緒に作ったりしたいです。また、今日一緒に作ってくれた方が分かりやすく説明してくれたから、すごく作るのが楽しかったです。
- 今日の出来事を家族にも伝えて、いつかたくさんのお店の郷土料理を作りたいと思いました。良い体験ができたので、またどんどん新しいことにも挑戦して食改さんのように料理の仕方を教えてあげたいです。
- 家で作ったものは今回なかったけど、おばあちゃんからにごみをもらったり、押し寿司を買ったりなど食べたことがあって、自分達で作ることさらに美味しく感じました。伝承料理なので他の人に伝えていきたいです。
- 今日の教室を通していろいろな郷土料理が知れました。私は特に角寿司が美味しかったです。でも他のものも全部美味しかったです。いろいろなことがあったけど、みんなで協力して作ったからいつも美味しいけど今日は倍おいしかったです。また家族と作りたいです。



町長コラム

Vol. 93



吉賀町長
岩本一巳

吉賀町社会福祉協議会

合併20周年

昨年11月29日（土）吉賀町社会福祉協議会合併20周年記念式典が、盛大に開催され、私も町を代表して出席させて頂きました。佐古会長様をはじめ役員の方々には、平素より、当町の福祉行政全般に亘り、様々な形でご尽力頂いているところであります。厚くお礼を申し上げますとともに、心からの祝意を表したいと思います。

当協議会では、この間、ボランティアセンターやシルバー人材センターの設立、小地域ネットワーク事業の開始や障がい者就労継続支援事業所アスノワ開所をはじめ、福祉全般に亘る分野において精力的な活動を展開してこられました。また、私自身が一番記憶に残るのは、令和元年5月に発生した七日市地区大規模建物

火災の際に、いち早く現場に於いて「助け合いステーション」を立ち上げて頂き、連日、ボランティア活動を行って頂いたことでもあります。

そして、当協議会では、現在、地域福祉の充実に向け数々の施策に取り組んでいます。その中の一つに「ふれあいサロン」があります。このサロンは、日々の暮らしを孤立して行うのではなく、ごく身近な地域を拠点として、ちよつとした困りごとを助け合い、楽しみを分かち合い、ご近所づき合いの場を提供するもので、町内33箇所で開催されています。去る12月18日（木）には、注連川東地区サロンに参加させて頂きました。当日は、皆さんと共に、フラワーアレンジメントに挑戦したり、

朝倉小学校さくら学級の皆さんと一緒にゲームや歌を楽しみ、その後は、参加者の皆さんとおしゃべりをしながら地元ボランティアの方々で作られた美味しい食事をいただきました。歩いて行ける場所に気軽に集い、サロンを通じて、健康・生きがいづくり・仲間づくりの輪が広がることを期待しています。

ところで、本町も新町として誕生し昨年満20年を迎えました。取り巻く環境は、極めて厳しい状況ではありますが、引き続き常に前を見据えて、持続

可能なまちづくりに邁進していく所存です。その中でも最も重要視されなければならぬことは、何と言っても地域福祉の充実です。その実現のためには、当協議会は、欠くことの出来ない組織であります。従って、日々連携し地域の皆様の複合化・複雑化した支援ニーズへの対応や自立に向けた対策の充実強化に向け、共に頑張っていきたいと思っております。

改めて、記念式典開催を契機として、当協議会が今後益々ご繁栄されますことをお祈り申し上げます。



<こんな美味しい食事でした>



<サロン参加者の皆さんと一緒に>

吉賀町立図書館

【クリスマス会】

12月25日、楽しいクリスマス会を企画し開催しました。当日は、六日市学童の皆さんの参加があり賑やかでした。内容は、簡単な毛糸のリース製作、図書館長の手品、DVD「大男とクリスマスツリー」の上映などでした。これからも楽しい企画を考えてご案内いたしますので、どうぞご参加ください。

【若い人に贈る読書のすすめ 2026】

1月の成人の日になんで、この時期に公表される「若い人に贈る読書のすすめ」ですが、毎年リストの本を展示して貸出しています。全部で24冊ある中で、少しご紹介します。

・月収	原田 ひ香	・僕には鳥の言葉がわかる	鈴木 俊貴
・小説	野崎 まど	・AIに書けない文章を書く	前田 安正
・願わくば海の底で	額賀 滯	・「ごめんなさい」の練習	林 健太郎
・給水塔から見た虹は	窪 美澄	・人よ、花よ、(上、下)	今村 翔吾
・好きな食べ物がみつからない	古賀 及子	・愛ちゃんのモテる人生	宇井 彩野
・大学4年間を「応援」に捧げた私が古生物学者になった話	泉 賢太郎		

◀図書館利用状況12月▶

- 貸出総数 2735冊
- 貸出人数 627人
- 来館者数 522人

【休館日と返却ポスト】

- ・毎月曜日と祝日は休館

地域の公民館に返却ポストがありますのでご利用ください。



柿木公民館

春の訪れとともに一年が始まる「立春」。季節の変わり目「節分」の翌日が立春で、新暦の2月4日頃。実際の感覚では、一段と厳しい寒さが加わりますが、暦の上ではこの日から春が始まります。また、旧暦2月8日古針の労をねぎらい供養する御事始（針供養）の伝承が各地に残っています。この日は針仕事を休み、使えなくなった古い針を集めて豆腐やこんにゃくなどに刺し、神棚に供えたり、川に流したりしました。

使った針に感謝の気持ちを込めて供養するとともに「針仕事が上達するように」「ケガがないように」と祈願します。

【今月の本の紹介】

浮世道場	群 ようこ	幻滅論	北山 修
これなあに？	みやにし たつや	戦国二人三脚	杉本 苑子
家庭力	陰山 英男	感動する物理	橋本 幸士
「地元」の力	金丸 弘美	華の下にて	内田 康夫
幸福な生活	百田 尚樹	つながろ！	しまだ ようこ
にているね！？	五味 太郎	うつくしく、やさしく、おろかなり	杉浦 日向子

開館日：火～金曜日及び毎月第2・4の土日
 開館時間：9時～16時
 休館日：毎月曜日と祝日



Grantow
Grand Toit



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM
いわみ芸術劇場
IWAMI ARTS THEATER

掲載されている内容は、2025年12月22日時点の情報です。
最新の情報は、Grantowホームページをご覧ください。

問合せ
698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「Grantow」
TEL:0856-31-1860 FAX:0856-31-1884
E-mail:grantoit@cul-shimane.jp https://www.grantoit.jp

Facebook
更新中!



おかげさまで開館

20周年!



20th



開館20周年記念企画展

美術館が
うまれて、
それから



leeva
me

高校生以下無料

コレクションと
石見美術館の
20年

2025 12.20 土 → 2026 2.23 祝月

【開館時間】9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで)
【休館日】火曜日、12月28日～1月3日
【観覧料】当日券:一般800円、大学生500円
前売券:一般750円、大学生450円

島根県立石見美術館

山田喜作《真夏の港》(部分) 1932年 島根県立石見美術館蔵

Grantow弦楽合奏団
第13回定期演奏会

2026年3月15日 SUN

開場/13:30 開演/14:00
いわみ芸術劇場 小ホール

チケット好評発売中

プログラム

セント・ポール組曲(ホルスト)
花のワルツ(チャイコフスキー)

全席自由・税込

一般/前売1,000円
当日1,500円

高校生以下/無料
※未就学児入場不可

弦楽器が織りなす豊かな
ハーモニーをお楽しみください。



特別展

押絵ト旅スル男

女生徒

塚原重義監督

島根県立
石見美術館
展示室B

2025 12.24 [水]

2026 02.23 [月]



【押絵ト旅スル男】©青森県立美術館・静岡県立美術館・島根県立石見美術館/塚原重義/トワロ

2014年の企画展「美少女の美術史」、2018年の企画展「めがねと旅する美術」の出品作品として気鋭の監督・塚原重義に制作委嘱した短編アニメを上映。「押絵ト旅スル男」は2025年制作のバリアフリー版(音声ガイド、字幕つき)もあわせて上映します。

「女生徒」(14分)原作:太宰治、朗読:遊佐未森、企画:トリメカ研究所

「押絵ト旅スル男」(9分)原作:江戸川乱歩、声の出演:梶裕貴、細谷佳正、坂本頼光
企画:トリメカ研究所/音声ガイドナレーター:佐々木望

島根県無形民俗文化財指定
益田糸操り人形

チケット好評発売中

2026年3月22日 日
開場/13:00 開演/13:30
いわみ芸術劇場小ホール
全席自由 [一般] 前売500円/当日600円
税込 [高校生以下] 無料
※託児サービスはありません

★演目
絵本太功記
尼ヶ崎の段
山本流獅子の二曲ほか

Grantow定期公演

《寄稿》
御飯を炊く

竹中 和博

御飯を焚くのに昔の人は苦勞して
ました。昔は羽釜で、薪で、藁屋根の
家の土間に「かまど」が有って御飯も、
煮物も、焼き物もこの「かまど」で用
が足りていたものです。直接火を燃や
す訳ですから土間の上は煤で真っ黒に
なっていたのです。

薪からガス（プロパンガス）へ替っ
てゆきやがて電気へとなっていたわ
けです。しかし全部が電気とはなっ
ていません。ガス炊飯器は今も大きなイ
ベントがある時、露天商の方々の多く
は焼き物（焼そば、イカ焼き、お好み
焼き、たこ焼等）はほとんどがガスで
す。又、学校給食や福祉施設の調理場
も主流はガスなのですが、一般家庭
の御飯は電気炊飯器のようです。しか
しよく見ると今時の炊飯器は、はがま
炊、かまど炊き、土鍋炊き等々数々の
新機能を纏う製品が出回っていて、昔
の薪で、羽釜で炊いた御飯をいかに再
現するかに多くの力を注ぎ各社鍋ぎを
削っている様です。羽釜で炊いたご飯
はいかに美味しかったかと言う証明に
もなろうかと思うところです。

今の子等は羽釜も「かまど」も知り
ません。火加減の難しさや、黒く煤の
付いた羽釜の底を藁を束ねて作った束
子で擦って、手を黒くして困ったもの

でした。

昔のやり方に戻ることは考えられま
せんが、大きな災害が発生した時、電
気やガスが使えなくなれば、やはり薪
と羽釜の世話になる事になるでしょ
う。電気、ガスのない時を考えて昔の
飯炊きの方法を伝授しておくことは今
の高齢者達の役割の一つではないかと
考えます。

《寄稿》

郷里回想録三十一（前編）

橋本 雅夫

かつての敗戦直後昭和時代は金品物
資が共々に至って不足の日常であつ
た。よつて、大人も子どもも身近現物
より楽しみ・遊び・行楽を見出し出た。
よつて、次の是等も其の一つである。
是は年末からお正月の期間雪の下で良
く「百人一首かるた」を子ども達も一
挺前に読んだり各家に集合「かるた取
り」と云つて遊んだりしていた。

此の当時村には若い青年が比較的多
く在住此の青年達から主に「百人一首
カルタ取り」を享受す。そして、此の
百人一首「和歌」の中に「ちはやぶる
神代もきかず竜田川からくれなゐに水
くくるとは」と云ふ歌がある此の歌
の意味を青年曰く、それは、「ちはや
様と云ふ格式家の美人娘さんと、又、
古刹神社に「神代」と云う是、又、超
美人の「巫女」さんがいた。そして、

そこに此の「竜田川」と云う若い「お
すもう」さんがいて「わしとお茶でも
飲みませんか」と声を掛けた。しかし、
此の二人の美女は和歌の如く「ちはや
さんは振りました」、又、「かみよさ
んもきかず」と、是はつまり、二人共
に何も竜田川の思いに賛同してくれな
かつたと云う事であり、しかるに、此
のおすもうさんの「竜田川」は「から
くれないに水くくるとは」は、つまり、
「えーえだめか、そんなら水にでも入
ろう」の事で、よつて、川に「ザアブー
ん！」と「入水して、しもうたんだよ」
と話してくれた。

《俳句》

早世した野菊の墓の君らしき

橋本 雅夫

めくる音読書にふける長い夜

村上 毅

極月や感謝重ねて妻送る

三浦 一美

震るるや歳時記を読み辞書を引き

山崎 美智子

冬耕や鋤の先まで己が影

齋藤 ツル子

アルバムに父母思い出す冬日和

糟谷 圭子

木箱から仏見ゆる冬日和

村田 綾美

小春空飛行機雲見て友を待つ

河野 由希

卓上のメモの押への愛宕柿

青木 道子

待つ春や底にはりつく池の鯉

竹中 和博

賑やかにされど神妙七五三

田村 民子

友に書く近況報告寒に入る

豊田 百恵

疲れびと帯状疱疹寝て五日

石村 菊夫

枯れ葉落ちやけに目に付く柿の実が

水上 健二

風邪をひき糖尿忘れ栄養を

寺戸 美瑛子

発表会孫しか見てないババでした

大庭 和子

老いてなお家の未来が気にかかり

田村 民子

少し買いレジでたまげるその値段

澤 三智代

年賀状今はラインに様変わり

岩上 武史

散髪屋パーパーなのでジイジやる

池下 邦枝

病葉は路地に散り敷き落霜紅

安村 ツトメ

橋さんのいたい笠なつかし旅夜空

橋本 雅夫

お年寄り足腰共に年をとり

村上 毅

ちょうみんひろば

町の熊大好物の柿と塵

竹中 和博

「千両」も「万両」もある家なのに

長峯 辰雄

《短歌》

クリスマスもらった膳をスマホ撮り

遠くの子等にエアおすそわけ

齋藤 みどり

正月の箱根駅伝見る度に

八十路の我が心が走る

村上 勝史

古い進み八十路の春に思い出す

亡父の言葉「つまらん者になった」と

中村 恵己子

間引き菜の届いた夜の食卓に

菜飯ひとつを加えてみたし

北野 令子

巡りあひて心のうちにくらぶれば

昔の人ぞ思わざりけり

橋本 雅夫

惚けずして名前が出ないだけのこと

ある時突然口に出る

田村 民子

首すばめ一步踏み出し二歩さがる

初霜の朝細い月見ゆ

竹中 和博

会心時が一期のときの際の時

揺れる思ひを噛みて出で来ぬ

長峯 辰雄

能登の地に災害あるも

人々の明るい笑顔に心うたるる

豊田 百恵

出生くすこやかにく (12月届出)

佐々木 翔織(とおり)さん

翔多・睡菜さんの子 七日市

お悔みくやすらかにく (12月届出)

川上 敏江 さん 89歳 注連川

三浦 伴子 さん 83歳 福川

小山 喜久枝 さん 73歳 六日市

見川 哲幸 さん 85歳 抜月

川本 ソキエ さん 86歳 下須

松前 富幸 さん 72歳 朝倉

板垣 浩二 さん 61歳 下須

同意が得られた方のみ記載しています。

応募方法とお知らせ

●毎月1日までに提出してください。

●寄稿は500字以内とし、超えるものは掲載を見送ります。

●楷書で略字を使わず、漢字は常用漢字を用いてふりがなを振ってください。

●応募作品は、基本的に原文のまま記載しますが、原文の意味を損なわない範囲で修正する場合があります。

●作品の内容によっては掲載しない場合があります。

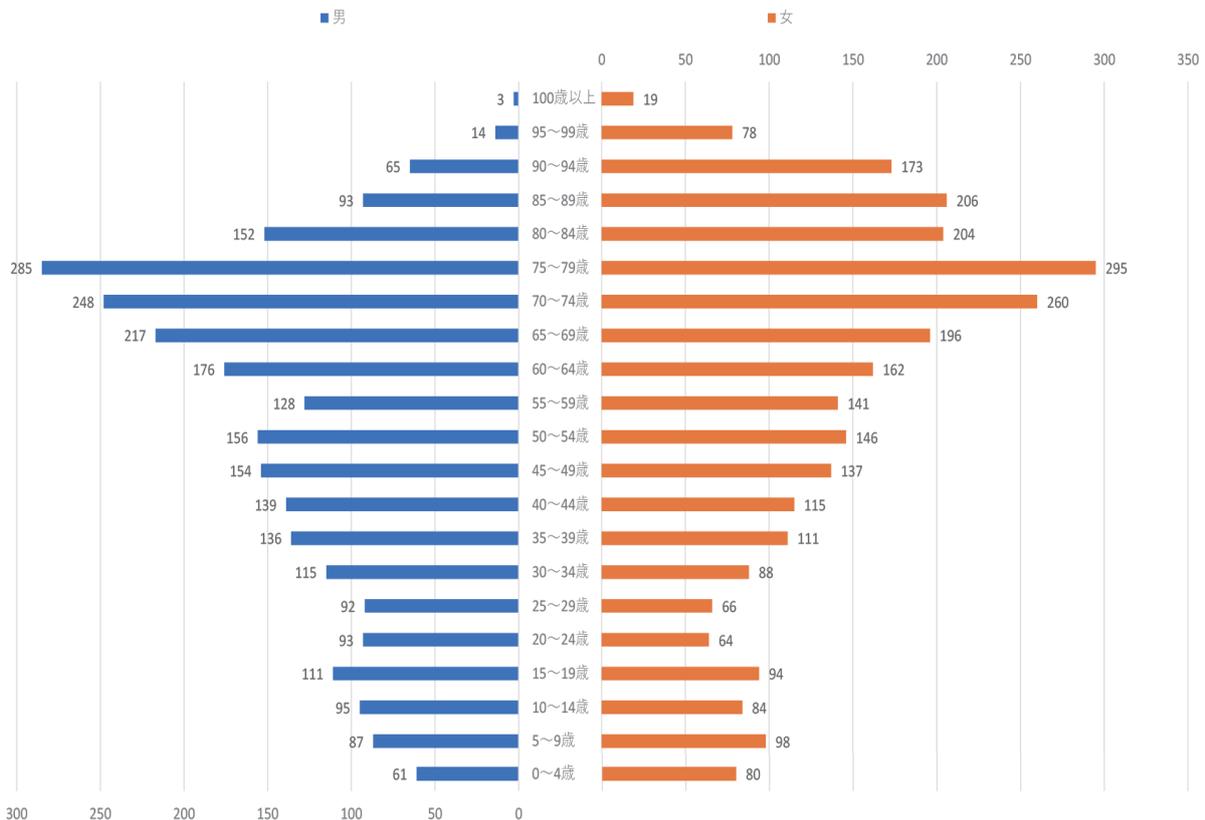
●応募多数の場合等は掲載しない場合があります。

●希望のコーナー名を記載ください。

●掲載の有無は連絡いたしません。

吉賀町の人口・世帯数 (令和7年12月31日現在)

人口 5,437人 (-12) 男 2,620人 (-5) 女 2,817人 (-7) 世帯数 2,905世帯 (-7)





寒い季節に温泉はいかが？吉賀の名湯をご紹介します！



かきのき温泉はとのゆ

- 料金 大人（中学生以上）¥650 小学生¥250
町民 65歳以上¥550
回数券 11回分¥6,500（町民 65歳以上¥5,500）
1ヶ月定期券¥6,800 幼児は無料
- 営業時間 11：00～19：00（3月末まで）
最終受付 18：30
- 定休日 毎週水曜日
- 温泉の効能 神経痛、関節痛、筋肉痛、五十肩ほか
- 泉質 二酸化炭素泉・炭酸水素塩泉
- 吉賀町柿木 81 Tel：0856-79-2150



木部谷温泉松乃湯

- 料金 大人¥600 13歳未満¥300
3歳未満無料
- 営業時間 10：00～16：00
- 営業日 2/22(日) 2/25(水)
- 温泉の効能 神経痛、リウマチ、関節痛、筋肉痛、
五十肩、うちみ、くじき、関節のこわばり、
運動麻痺、冷え性ほか
- 泉質 ナトリウム・カルシウム塩化物・炭酸水素塩泉
- 吉賀町木部谷 530



むいかいち温泉ゆ・ら・ら

- 料金 大人¥680（町民¥500）
小学生¥300（町民¥230）
回数券 12回分¥6,800（町民¥5,000）
1ヶ月定期券¥6,000（共通）
幼児は無料 ※3月末までの料金となります
- 営業時間 10：00～22：00 最終受付 21：00
- 休館日 2/3(火) 2/4(水)
- 温泉の効能 関節リウマチ、神経痛ほか
- 泉質 単純弱放射能泉（低張性弱アルカリ性温泉）
- 吉賀町有飯 238-2 Tel：0856-77-3001

掲載の情報は予告なく変更になる場合があります。お問い合わせ：吉賀町観光協会 〒699-5506 島根県鹿足郡吉賀町有飯238-2 ☎080-2922-1506 定休日：火・水

